

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、こんにちは。さて、グローバルデンウィークも終わって国会は終盤戦。医療制度改革、共謀罪、教育基本法、行政改革など、懸案は目白押しです。

そのうちのひとつ、行政改革では三つの法案が審議されています。人件費削減などを目指す行革推進法案、ムダな公益法人(財団法人、社団法人)を減らすことを目標とする公益法人制度改革法案、これまで役所がやっていた事業を民間に開放する公共サービス改革法案の三つです。いずれも表面的にはもっともな法案。問題は中身です。

本当にムダ遣いをなくせるか

国、都道府県、市町村、いずれも自前の財源はありません。行政は全て皆さんの財布の中から集めさせて頂く税金と社会保険料です。つまり、行政改革とは皆さんの大切な税金や社会保険料のムダ遣いをなくすことが目的なのです。

例えば、公益法人。国や都

道府県が認可した公益法人は全国に約二万六千。大半は真面目に仕事をしている公益法人ですが、怪しげなものも少なくありません。

一例だけご紹介しましょう。財務省所管のコンピュータシステム関係のある財団法人。六人の高級官僚(事務次官などの経験者)OBが役員になっていますが、中には三十五年も在籍している人もいます。ビックリですね。

この財団法人には毎年、霞ヶ関からたぐさんのレポート作成の仕事が発注されています。例えば、文科省からは「子どもの意欲ややる気に関する調査」、国交省からは「環境に優しい雪国のあり方に関する調査」、総務省からも「地域づくりのための調査」。うーん、いずれもコンピュータとは関係ありませんね。OBの親元官庁の全てからこういう発注が行われています。これらのレポート作成費は判明しただけで毎年四億円。しかも、レポート作成をさらに別の先に再委託しています。再委託

先からは「レポートはほとんど中身の無いものを作り、ごくわずかな報酬をもらっているだけ」との証言も得られています。ということは、四億円のは大半はこの財団法人に残っていることになります。財団法人の年間収入は三十三億円ですが、残りの二十九億円も推して知るべし。ヒドイ話です。

そもそも行政改革というからには、このような財団法人は即刻解散、過去に投入された公費(税金や社会保険料)は関係者から返還させるのが筋でしょう。そうした対応ができないようなら、行政改革の名が聞いて呆れます。

さて、「改革なくして成長なし」と叫ぶ小泉さんが登場して五年。構造改革の目的は税金や社会保険料のムダ遣いをなくすことだったはず。小泉さんの最終盤で新たに登場した小沢さん。小沢さんには「ムダ遣いの一掃なくして改革なし」と一喝入れて頂きたいものです。



覚王山ソクゾクコーナー

(タイトル文字は書家・山内美風さん<TEL:782-1356>の作品)

—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します! ——

<今回は、「二宮豊店」さんです>

今回ご紹介するのは、「二宮豊店」さんです。広小路通りから日泰寺参道を本堂に向けて進むと、ほどなく左手にみえてくる二宮豊店さんは、昭和元年創業の老舗です。

二宮豊店さんは、覚王山日泰寺や城山八幡宮御用達といったことから分かるように、まさに地域に溶け込んだ豊店さん。先代の創業者は、日泰寺から参道の管理を任されていた、当地の顔役だったようです。

「豊職人は死ぬまで修行」と語るのは、二代目の二宮一夫さん。それだけ技術習得が難しいいうえ、洋室の増加で畳の需要が減少する中、お店を止めてしまう同業者も多いのだとか。しかしながら二宮豊店さんが元気に活躍されているのは、やはりお客様からの信頼を勝ち得ているからでしょう。

「畳はそれ自体、大変優れた空気清浄機」、「イグサの香りには人の集中力を高めるアロマ効果もある」、と力説する二宮さん。皆様も、畳の素晴らしさを今一度思い返してみてもはいかがでしょうか。

二宮豊店：052-751-3708

